

# 令和5年度 高千穂河原火山噴火避難誘導訓練 について

霧島市・安心安全課

## 1 目的

新燃岳が噴火して大量の火山灰や火山礫が降下する場合に備え、高千穂河原における観光客等を安全に施設へ避難誘導するための訓練を実施する。

## 2 日時

令和5年1月26日(金) 10:00~11:30

## 3 場所

高千穂河原及び高千穂河原ビジターセンター

## 4 訓練参加者

霧島市、鹿児島県、自然公園財団、高千穂河原ビジターセンター運営協議会、霧島ジオパーク推進連絡協議会

## 5 訓練想定

- ・1月26日午前10時00分に新燃岳が噴火（噴煙が3,000m以上）し、鹿児島地方気象台は噴火速報を発表した。〔市は情報収集を開始〕
- ・噴火後まもなく高千穂河原周辺に火山灰が降下。  
〔高千穂河原ビジターセンター・自然公園財団は避難誘導を開始〕
- ・午前10時19分に鹿児島地方気象台は、新燃岳の噴火警戒レベル3引き上げを発表した。

## 6 訓練内容

- ・新燃岳噴火から噴火警戒レベル3引き上げまでの間における高千穂河原ビジターセンターへの一時避難の誘導等。

## 5 訓練シナリオ

時間	種 目	実施機関 ・団体	具体的行動	口 述
9:50	訓練事前周知	財団職員	パークサービスセンターの屋外スピーカーやメガホンを使って河原にいる現地滞在者に対し、訓練実施をそれぞれ2回繰り返し周知する。	お知らせします。本日10時から、ここ高千穂河原で火山噴火を想定した避難訓練を実施します。
9:58				
9:55	訓練準備	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団職員及びビジター職員は、自室で待機</li> <li>・避難者役は、安心安全課職員の指示で、河原内に散らばる。</li> <li>・残留者役は、外トイレや避難壕内で待機</li> </ul>	なし
10:00	火山噴火	財団職員	モーターサイレンを極低音で吹鳴する。屋外拡声子局を使い、火山噴火周知と避難誘導を行なう。	これは訓練です。新燃岳が噴火しました。直ちにビジターセンターへ避難して下さい。
	避難誘導	財団職員	財団職員はメガホンを使って河原にいる避難者に、ビジターへ避難するように呼びかける。	これは訓練です。新燃岳が噴火しました。直ちにビジターセンターへ避難して下さい。 (避難者全員が避難所へ入るまで繰り返す。)
		ビジター職員	避難誘導開始後、ビジター職員はビジターが避難場所であることを、玄関に立ち旗を振って知らせる。	避難場所は、ここビジターセンターです。早く避難して下さい。
	避難行動	市職員 ジオ協議会員	避難者は、避難誘導に従い、速やかにビジターへ避難	なし
10:10	避難者数把握 及び残留者確認	財団職員	【噴石や降灰が一時的に弱まった想定】 財団統括管理者は、避難者の人数を把握するとともに、財団職員（2名）に残留者有無の確認を指示。	(財団職員名) と (財団職員名) は、残留者がいないか河原周辺を捜索しなさい。
			財団職員（2名）はメガホンで呼びかけながら、河原周辺を捜索。 →残留者3名のうち「2名避難壕・トイレ」、「1名はブラインド」	避難の遅れている人はいませんか。
10:15	報告	財団職員	財団職員は、外トイレと避難壕にいた残留者をビジターへ連れ帰り、人数を財団統括管理者に報告。	外トイレと避難壕にいた●人を保護しました。
		財団統括管理者 安心安全課長	財団統括管理者は、残留者を含む全ての避難者数及び避難者の救助要請を安心安全課長（災对本部）に報告。	高千穂河原にいた●人の避難が完了しました。ケガ人はいません。避難者の救助を要請します。
		商工観光施設課	指定管理者は、ビジター内の避難状況及び救助要請済みを県に報告	ビジターセンターの避難者は●人、ケガ人はいません。霧島市災害対策本部に避難者の救助を要請しました。
10:20	講評	安心安全課長		3

# 訓練風景



訓練周知



避難場所



モーターサイレン吹鳴



避難誘導

# 訓練風景



避難誘導



残留者搜索



報告



講評

## 高千穂河原火山噴火避難誘導訓練における改善点等

- 残留者の捜索において、効率よく捜索するためにも、どこまでを範囲とするのか、こういった経路で確認をするのかについて前もって決めておくか、現場の状況によって判断した上で捜索者に伝えておかなければならない。トイレの個室やパークサービスセンター内などは捜索者の見逃しなどが起こりやすいので、指差し確認が必要。
- 避難先誘導の旗が小さい。
- 避難場所の自動ドアは、解放状態にした方が良い。